

[中部]

森 庸全 さん

森庸全さんは地元の音楽文化を支えたいと、退職後に音楽企画会社「慄イントロダクション」を創業されました。

ヤマハで培った音楽普及の経験や、幅広い人脈を生かして中部地方を中心に事業を展開されています。

音楽との出会いは中高校の吹奏楽部

中学時代に中日吹奏楽コンクールで3年連続優勝し、高校では全国吹奏楽コンクールで優勝、大学ではビッグバンドジャズのリーダーとして活躍し、1968年ヤマハLMCでグランプリを獲得したとのこと。

ヤマハ入社後は、その経験と実績を生かしてポップコンを担当し、高木麻早、八神純子、あみん、葛城ユキなどを世に送り出し、特に森さんが作詞作曲した「最後の朝」を葛城ユキが歌い、川上源一賞とビクター賞を獲得したのは、その後の仕事の支えとなったようです。

また社会人ビッグバンド「ジャズラブオーケストラ」を1971年から主宰し、合歓ジャズインでの出演をはじめ、KEIKO LEE、寺井尚子など内外アーティストと共演等の演奏活動は、現在も継続中です。

ヤマハで培った音楽普及のノウハウを生かして地元の音楽文化を支えたい

ヤマハ退職後も音楽に対する情熱は衰えず、セカンドライフも音楽に関わる仕事を続けたいと、数多くの音楽イベントをプロデュースして実績を積み重ねてきました。

名古屋市芸術奨励賞、愛知県芸術文化賞、セントレア空港音楽祭音楽の殿堂功労者賞などの受賞は、地元の音楽振興の一翼を担ったことが評価され、活動の励みになったと語っておられます。

世界的にも珍しい空港を舞台としたセントレア空港音楽祭は2011年の第1回からプロデュースし、さまざまなジャンルの音楽が楽しめるイベントとして幅広い層から支持され、ヤマハLM営業からも協力を頂いているとのこと。



コロナ禍に負けず生涯音楽人生をエンジョイしたい

順風満帆の森さんでしたが、折からのコロナ禍で春から夏にかけて開催予定のセントレア空港音楽祭、スカイマーチングフェスティバル、クールジャズフェスティバル、多賀大社及び多度大社夏祭りなどの企画プロデュースはすべて中止になりました。

大きなダメージを受けながらも、音楽活動への思いは強く、コロナ後の再開を目指して構想を練る日々とのこと。

取材当日セントレアからオファーが入り、空港音楽祭再開の明るい兆しも見え始めたようです。

音楽プロデュースを天職と自認する森さんの活動の一端をHPでご覧ください。

<http://www.introduction.co.jp/>

〈取材:大曾根 國晴〉



ジャズラブオーケストラコンサートで八神純子と共演



空港音楽祭2020 チラシ



あいちトリエンナーレ フィナーレで指揮



セントレアスカイマーチングフェス出演のTOHOマーチングバンド(母校)